## 地 震 も 備える

模でやってきます。 時情報(巨大地震注意)」を発表しました。 沖を震源とする最大震度6弱の地震も発生し、 もしもに備えて 地震への備えの再点検をしまし 災害は突然、 8月8日に日向灘 想像を超える規

大 きな 被害が想定され る地震

指定されています。 地震で大きな被害が見込まれる 加西市は、「災害が少ない地域」と言われますが、 自分の住む地域の想定を確認することが大切です 「南海トラフ地震防災対策推進地域」 実は、 南海トラフ

つ

たらどうなる?

南海トラフ地震 想定 最大震度 6弱 ▲震度想定地図

地震発生の切迫性が高まってきて 以上経っており、 トラフ地震発生から、 きた大規模地震です。 境界を震源域として、 駿河湾 50年間隔で繰り返. (静岡県) にかけてのプレ 次の南海トラフ から日向 約 1 すでに70年 前回の南海 し発生して 0 灘

対策推進地域に指定されて されており、 加西市は、 南海トラフ地震防災 震度6弱以上が想定 い

▲震度想定地図

分され、 隔が長く、 南東部に位置しています。 断層帯主部は、 の起震断層に区分されます。 山崎断層帯主部、 から北西部と南東部の2つに区 山崎断層帯は、 Ö 加西市は、 30年以内の発生確率は 最新活動時期の違 草谷断層の3つ 那岐山断層帯 山崎断層主部 活動間 崎

を選択 いま 3確認したい地図 す

物につかまらないと歩くことが難しい 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる

固定していない家具が倒れることがある 立っていることが困難になる 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある 耐震性の低い木造建物は、建物が傾いたりすることがある

状況

はわないと動くことができない 固定していないと家具のほとんどが移動し

倒れるものが多くなる

大規模な土砂災害が発生することがある 耐久性の高い木造建築物でも、まれに傾くことがある 耐震性の低い鉄筋コンクリートの建物で倒れるものが多くなる

M6.8 以上の地震が発生または通常と異なる ゆっくりした地すべりが発生した可能性

気象庁が「南海トラフ地震臨時情報 (調査中)」を発表 専門家による評価検討会

南海トラフ地震 南海トラフ地震

臨時情報 (巨大地震警戒) ○津波からの避難が間に 合わない地域では事前

○日頃からの地震への備 えを再確認 ○必要に応じて自主避難

(巨大地震注意) ○日頃からの地震への備 えを再確認

臨時情報

)必要に応じて自主避難

○地震発生に注意しなが ら通常の生活を行う

南海トラフ地震 臨時情報 (調査終了)

○地震発生に注意しなが ら通常の生活を行う

に

南海トラフ巨大地震が発生する可能 防災対応を示しています。 気象庁が発表しま -スを3

# 南海トラフ地震臨時

、知っておきたいキ

性が、 評価された場合に、 す。臨時情報が発表されるケ 普段と比べ相対的に高まったと

## 山崎断層帯地震 想定 最大震度

詳細な地図は こちらから確認

を選択

震度5強

震度6弱

震度6強

震度7

発生後

5分

30 分後

最短

2 時間後

から

1週間

1週間

から

2 週間

険な場所の把握や災害時にどう行動するか、 災害が起こったときの被害を少なくするために、 震度階級

日常からできる災害

**^** 

の

備え

とが大切です。

今日からできる対策をご紹介します。

継続的に準備・想定するこ

日頃から、

地域の危

家の周りを点検す

□部屋の家具の配置

家具が転倒したり移動し

たりしたときに、下敷き

にならないか。ドアなど

避難経路をふさがないか。

囲での停電や断水が発生することがあ

難所へ逃げましょう。

自宅にいることが危険な場合には避

は

大きな不安となります。

どのよう

情報がない中で避難生活を送るの

確かめる

集と共有方法を

避難場所を確認する

大規模な地震が発生した場合、

> ライフラインを守る

避難に備える

が使えず、衛生面の課題もありまし

た

ている場合や避難所への移動が困難な

感染症による避難所の人数制限が出

しょう。

また、

家族が離れたところで被災す

に情報収集ができるか確認しておきま

長期間避難生活が続くことも想定し

場合などで、

自宅で安全が確保できる

ます。

能登半島地震でも長い間水道

た準備も考えてみましょう。

の一つです。どこにいるのが安全か、

ときには自宅避難をすることも選択肢

合場所、避難場所の情報をどこに残し

ることも考えられます。

その場合の集

ておくかを、

家族で一度話し合ってお

情報収集をして判断しましょう。

避難所へ向かうル

の安全性を一

問合先 防災課 きましょう。

### 避難に関する 情報はこちら

家の外

昭和56年5月以前に建てられた建物

は、現行の耐震基準を満たしていない

可能性があります。耐震性が低い場合

には、倒壊の可能性を踏まえた対策を

あると助かる

防災グッズ一例

1日あたり

1人30

停電

が起きそうな場所がな

い

地すべりや河

ため池の決壊など

しっかりとしておきましょう。

□飲料水

□簡易トイレ

□トイレットペーパー

□ウエットティッシュ

MIMM

断

□ブロック塀の安全性

ブロック塀に控え壁があ

か?

るか?鉄筋が入っている



加西市情報 マッブ

▲Web上で地震や浸水想 確認できます。



加西市防災 「▲防災課で 配布中

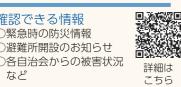
### ハザードマップ

避難施設

#### 情報収集の方法は こちら

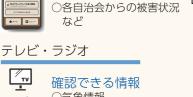
1111111 かさいライフナビ・有線・無線放送など















家の中

□家具や家電の固定

L 字型金具やベルト式器

具で家具と壁を固定する。

ポールで天井との間を固

定する。粘着性のマット

や滑り止めも有効。

日分を

用意

※大規模災害時には

度歩いて

確認することをおすす

8

□ケガをしない工夫

散防止フィルムを貼る。

器具をつける。

窓ガラスやガラス扉に飛

家具の扉に飛び出し防止

□懐中電灯(予備電池)

□モバイルバッテリー

□ヘッドライト

□ LED ランタン

□カセットコンロ

□暑さ・寒さ対策

□ガスボンベ

道中に倒れる危険性のあるものが

な

所要時間はどのくらいか?



○気象情報

○避難情報 など

広報 kasai 2024.9 月

20<u>24.</u>9月 広報 kasai